

日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

世界の中の日本。科学・文化の諸相に彼我の風土の違いを発見した人物
(Part I 科学・技術分野)

湯川の戦後

-科学と国民国家-

講師： **佐藤 文隆** 先生

【講演要旨】

敗戦の10年前、1935年に湯川秀樹は中間子論を発表し、1937年の海外での実験により、世界の物理学での注目の人物になった。この年30歳の青年は、この後国民の注目を浴びて生きることとなった。1939年、ソルベイ会議への招待で初めて欧州に旅立つが、大戦の勃発で会議は中止となるが、帰路、幾つもの米国の大学に立ち寄り大陸を横断し、国際デビューした。大戦後、1948年、直ちにオッペンハイマーに招聘されて渡米し、在米中に日本人として初めてノーベル賞を受賞した(1949年)。足掛け5年の在米から1953年に帰国した湯川は、科学者としてかつて経験したことがないヒーローとして国民の前で生きていくことになった。国家主義の幻滅を味わった国民の新たな統合のシンボルの一つとして湯川は生きることが意識せねばならなかった。冷戦化の中での急激な経済成長、湯川の希望と苦悩とは？

【講師略歴】

1938年山形県生まれ。京都大学名誉教授。日本物理学会会長、日本学術会議会員、湯川記念財団理事長などを歴任。専攻は理論物理学。著書に『科学者には世界がこう見える』(青土社2014)、『破られた対称性』(PHPサイエンス・ワールド新書2014)、『科学と人間 科学が社会にできること』(青土社2013)、『職業としての科学』(岩波新書2011)、「アインシュタインの反乱と量子コンピュータ」(京大学術出版会2009)、『夏はなぜ暑いのか』(岩波書店2009)、など多数。

日時： 2015年 **7月30日(木)** 18:00～20:30

会場： **公益財団法人国際高等研究所**

参加費： **2,000円** (交流・懇談会費用を含む)

定員： **40名** (申し込みが定員を超えた場合は抽選)

申込： 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

詳細： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

7月21日(火)

必着

IIAS 公益財団法人
国際高等研究所
International Institute for Advanced Studies

けいはんな「ゲーテの会」とは・・・
けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。

第25回

ゲーテの会

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ



参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9 丁目 3 番地

公益財団法人国際高等研究所 事業部

けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

| | | |
|--|--------|-------|
| 第 25 回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2015 年 7 月 30 日 (木) 開催 | | |
| お名前 | | |
| ご所属 | | |
| 部 署 | | |
| 役 職 | | |
| 連絡先 | ご住所 | |
| | TEL | FAX : |
| | E-mail | |

■ 会場案内

